

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

今年も夏至がやってきました。夕方がいつまでも明るくてうれしいです。

皆さまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

季節を半年以上も遡り、秋も終わりの頃のことです。以前からトライしたかった、ベランダでのビオトープとメダカの飼育を始めました。こういったことは、生体に負担のかからない春～夏に始めるのが当然ですが、「思い立ったが吉日」と、ホームセンターでメダカ5匹を買ってきました。しかし、季節の流れには逆らえません。一気に寒くなり、水草は元気がなく、後日お迎えしたミナミヌマエビも動いている気配はなく、いつのまにかメダカは2匹だけになっている状態で冬を越しました。やはり、無謀だったのです。ほんとうにゴメンナサイ…。

春になり少し暖かくなってきたので、新たに水草とメダカ3匹を追加しましたが、今度は水合わせに失敗し、先住メダカと合わせて3匹になりました。

やがてお腹がぶっくり大きくなり、2匹のメスが卵を産み始めました。

卵を孵化させたい場合は、親が卵や稚魚を食べない様に隔離することは知っていましたので、新たに水鉢を購入し、卵のついた水草を移動させました。ゴールデンウィークが過ぎたころから、少しずつ孵化し始め、半月ほどで3~40匹ほどの稚魚が泳ぐようになりました。小さなメダカたちが、じゃれ合ったり追いかけてっこをしたりするのを見て、遊びというのは、生き物の本能なのだなあと思いました。

その間も、親メダカはどんどん卵を産みます。水草に卵をこすりつけて、お腹がスリムになったと思ったら、翌々日にはまた卵を抱えているのです。彼女らは子孫を残すことに余念がありません。あまり増えすぎても困るので、あとは自然にまかせることにしました。

メダカの繁殖と並行して、別の生物も繁殖しています。お店で買った水草にくっついて、ゴマ粒大の貝がやってきました。一匹では増えないだろうと放っておいたのですが、みるみる成長し、ゼリー状の卵を産んでいる事に気づきました。この貝は単為生殖で一匹だけでも繁殖し、爆発的に増えると知った時はすでに手遅れ。メダカの孵化を喜ぶ一方で、稚貝をせっせと取り除く私。「矛盾している！！なんて自分勝手なんだ！！！」

しかし、取っても取ってもどこからともなく稚貝が這い出してきます。この状況を我が家では「爆貝」と呼んでいます。もう勘弁してほしいです。

6月になり、最初の方に生まれた稚魚たちは、1cmほどになりました。当初はエサをあげても食べているのかどうかさえ、よくわからなかったのですが、近頃は食欲旺盛で、エサに群がってくるようになりました。親メダカたちは相変わらず、休むことなく卵を抱えています。

泳ぐ姿をみていると時間を忘れます。まるでメダカ瞑想のようです！

梅雨入りしてからは雨が少なく、さわやかな日が多くてうれしい反面、ちょっと心配です。夏は目前ですね。皆さまもどうぞご自愛くださいませ。



左から「クロ（雌）・チビ（雄）・アカ（雌）」と名付けました。黄色いツボミはアサザ。



小さいし動かし、ビントが合いませんが、18匹くらい写ってます。



めったに姿を見せないエビちゃん。いま、何匹いるかは不明・・・。